

船舶事故等調査報告書

平成26年9月25日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2014仙第31号
事故等種類	転覆
発生日時	平成26年6月5日（木） 08時17分ごろ
発生場所	新潟県上越市直江津港北東方沖 直江津港沖防波堤北灯台から真方位071° 1.6海里付近 （概位 北緯37° 14.2′ 東経138° 18.4′）
事故等調査の経過	平成26年6月9日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	ミニボート（船名なし）、5トン未満（長さ約2.6m）
船舶番号、船舶所有者等	なし、個人所有
乗組員等に関する情報	操縦者、操縦免許なし
死傷者等	なし
損傷	船外機が濡損
事故等の経過	<p>本船は、操縦者及び同乗者が乗り、直江津港北東方沖で釣り場を探索していたが、天候が悪化してきたので、帰ることとし、同乗者が前部区画後方の腰掛けに座り、操縦者が船外機の近くでクーラーボックスに腰を掛けて操船を行い、南進を始めたところ、船首から波を受け、前部区画に浸水した。</p> <p>本船は、操縦者が船外機を停止して漂泊し、同乗者に電動ポンプを渡して排水作業を行わせていたところ、航行中よりも下がった状態となった船首部に続けて波を受け、更に浸水し、平成26年6月5日08時17分ごろ、直江津港北東方沖において、右舷側に傾斜して転覆した。</p> <p>操縦者及び同乗者は、船底につかまり、操縦者が持っていた携帯電話で118番通報を行い、来援した海上保安庁の巡視船に救助され、直江津港に搬送された。</p>
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 東、風力 2、視界 良好</p> <p>海象：波向 南、波高 約0.2m、潮汐 高潮時、海面水温 約18℃</p> <p>上越市には、本事故当時、強風注意報が発表されていた。</p>
その他の事項	<p>本船は、ミニボートと呼ばれる小型船舶操縦免許証及び船舶検査を必要としない船舶であった。</p> <p>本船は、FRP製の分割式ボートであり、船体中央部に隔壁があって前部区画と後部区画に分かれており、左右両舷に浮体を装着していた。</p>

	<p>操縦者は、ミニボートの操縦を4～5年前から始め、年に10回程度、直江津港沖で釣りを行っていた。</p> <p>操縦者は、強風注意報が発表されていることを知っていたが、昼までに戻るのであれば、問題ないと思い、出発した。</p> <p>操縦者及び同乗者は、出発時から救命胴衣を着用していた。</p> <p>操縦者は、防水パックに入れた携帯電話を所持していた。</p>
<p>分析</p> <p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>なし</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>本船は、直江津港北東方沖において、漂泊して前部区画の浸水の排水作業中、船首部に続けて波を受け、更に浸水したことから、右舷側に傾斜して転覆したものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、直江津港北東方沖において、漂泊して前部区画の浸水の排水作業中、船首部に続けて波を受け、更に浸水したため、右舷側に傾斜して転覆したことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミニボートは、乾舷が低く波が打ち込みやすいので、波が高くなったときには早めに帰ること。